

エム・ケーを訪問

多摩ブルー・ グリーン倶楽部



多摩ブルー・グリーン倶楽部（受賞企業、選考委員、支援機関などで構成）は17日、2013年度に経営部門で最優秀賞を受賞したエム・ケー（日野市）を訪問し、同社の展開する市街化調整

区域での開発事業などについて学習した。

多摩ブルー・グリーン賞は多摩信用金庫が、優れた技術や経営手腕などを持つ地域の中小企業に授与しているもの。

エム・ケーの小林勤社長は「写真」は「少数精鋭で一人当たりの売上効率を上げ、大手に負けない利益率を出し、社員の満足度の向上につなげてい

る」と述べ、「企業経営は『人材』。会社の認知度、金融機関の信頼度も上げ、優秀な人材の確保を図っていく」と企業経営の在り方を示した。

後半は岩館道廣専務取締役が、企業誘致を目的とした市街化調整区域開

発事業について講演し、ヘッドリースを土台に大規模な市街化調整区域の開発を進め、企業誘致により税収増、雇用創出を図り、地権者・進出企業・行政・地元住民にメリットをもたらすビジネスモデルを説明した。